

（評価基準）

学位論文は、専攻及び学位プログラムのディプロマポリシーに基づいて定められた、以下の基準により総合的に評価され、合否が判定される。

なお、この基準に定めるもののほか、学位プログラムにおいて必要なものは当該学位プログラムが定める。

（評価項目）

1. 研究目的・意義について

研究の目的、意義が学術的あるいは社会的に先駆性、妥当性を持ち、多大な貢献をなすものであること。

2. 先行研究の理解と提示

問題意識が明確であり、先行研究を網羅的かつ包括的に把握した上で、研究の位置づけが適切であることを示していること。

3. 独創性について

課題を独自に認定し、かつ研究のアプローチ、分析、論証に新規性、独創性が認められること。

4. 研究の方法及び資料について

研究方法が、テーマ、あるいは問題設定に基づき適切に選択され、研究が科学的な方法に従って行われており、論証のための資料、実験・測定結果が適切かつ十分に収集・活用されていること。

5. 論証方法と結論について

概念、表現及び論旨が正確であり、適切な論証が行われ、学術的に価値ある結論が論理性と説得性を持って導かれていること。

6. 論文の形式、体裁について

論文構成が論証の方法に従って適切であり、専門分野で汎用されている形式等にしたがって引用等が適切に行われていること。